



# 中学生における大麻使用の実態

-飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査(2018年)の結果より-

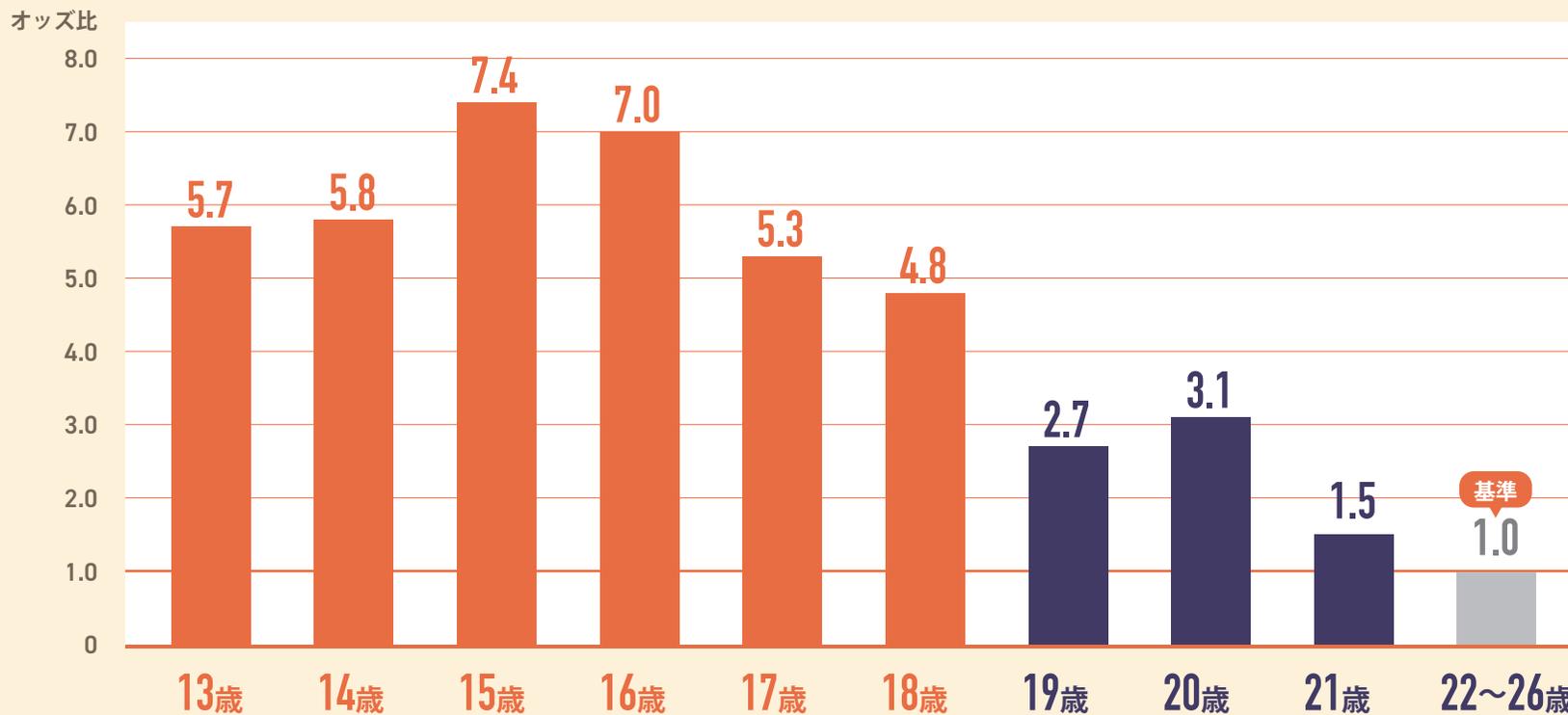
国立精神・神経医療研究センターでは、厚生労働科学研究の一環として、  
全国の中学生を対象とした飲酒・喫煙・薬物乱用に関する実態調査を隔年で実施しています。

※対象は全国からランダムに選ばれた中学校に在籍する全校生徒です。2018年調査では、全国183校に在籍する7万人以上の中学生がアンケートに回答していただきました。

# 01 大麻使用の開始年齢と薬物依存との関係

若年期の大麻使用は、薬物依存のリスクを高めます。  
18歳以前に大麻を使い始めた人は、成人してから使い始めた人に比べ、  
薬物依存を発症するリスクが**約5倍から7倍も高くなる**ことが  
報告されています。\*

図1. 大麻使用の開始年齢と薬物依存との関係



22~26歳に大麻を使い始めた人が大麻使用障害（薬物依存）となるリスクを基準（1）とした時のオッズ比

\*Winters KC, et al: Likelihood of developing an alcohol and cannabis use disorder during youth: association with recent use and age. Drug Alcohol Depend 92(1-3): 239-247, 2008.

# 02 大麻を使ったことがある中学生の割合

中学生において大麻の生涯経験率\*が増加しています。(2014~2018年)

※ 生涯経験率：一度でも大麻を使ったことがある人が占める割合

図2. 大麻の生涯経験率(全体、女子、男子)

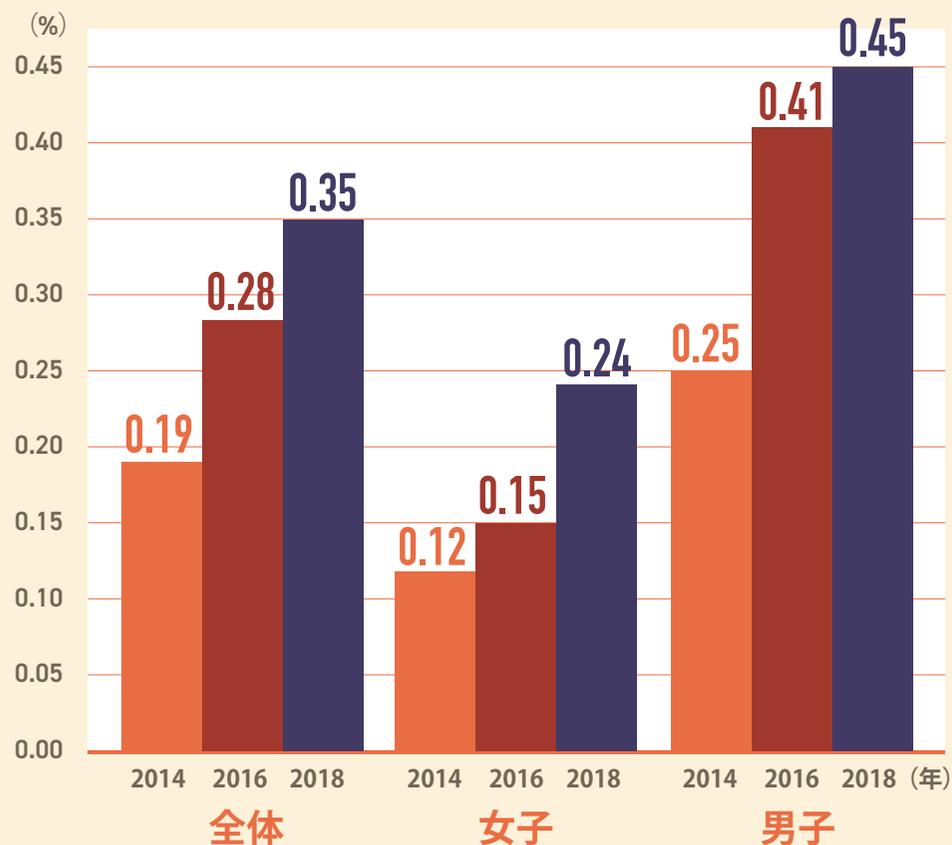
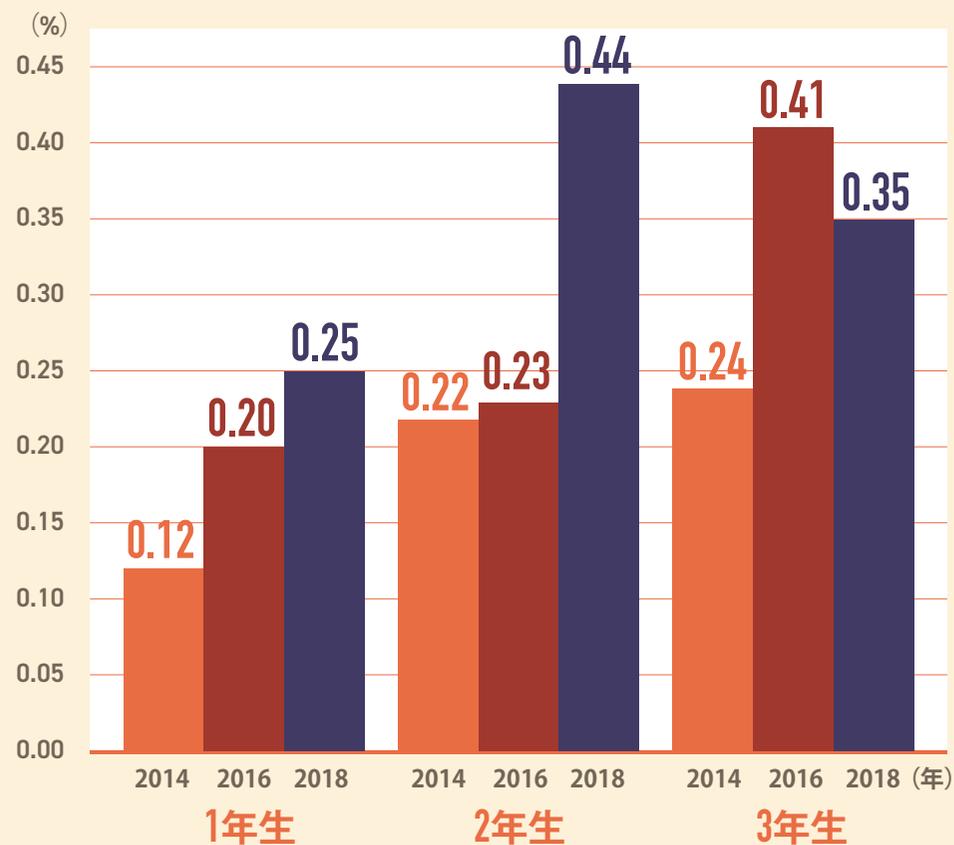


図3. 大麻の生涯経験率(1年生、2年生、3年生)



# 03 大麻使用と学校生活との関係

大麻の使用経験のある中学生は、使用経験のない中学生に比べ、**親しく遊べる友人や相談ができる友人が少ない場合が多く、学校生活が楽しくないことが明らかになっています。**

図4. 大麻使用と友人関係との関係

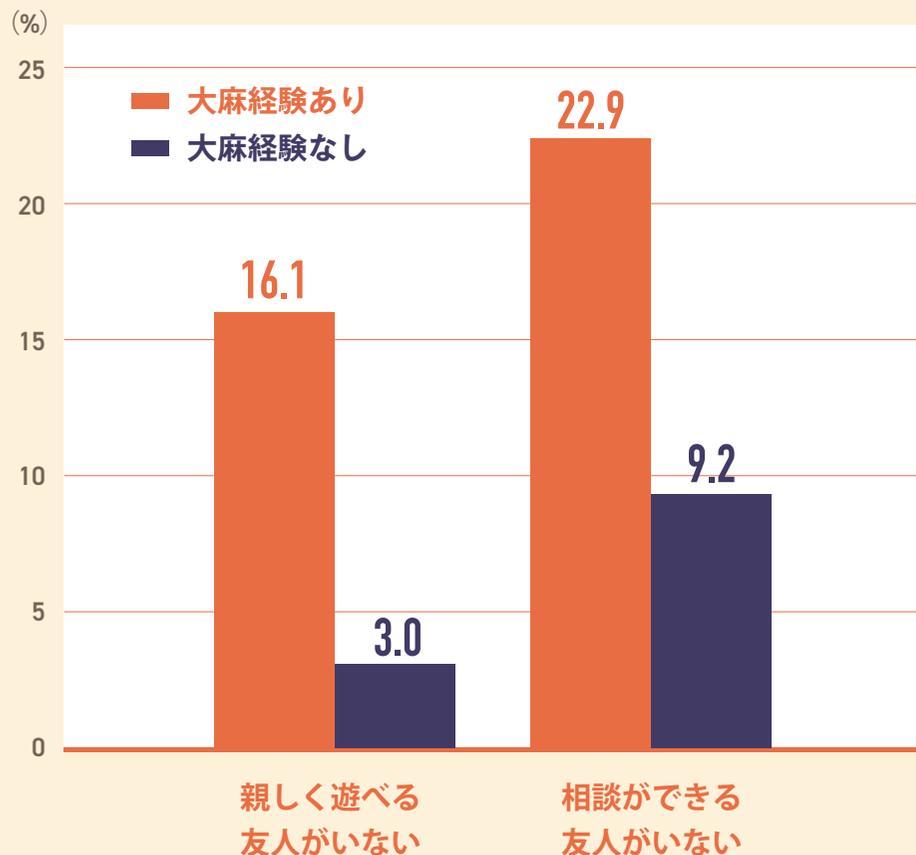
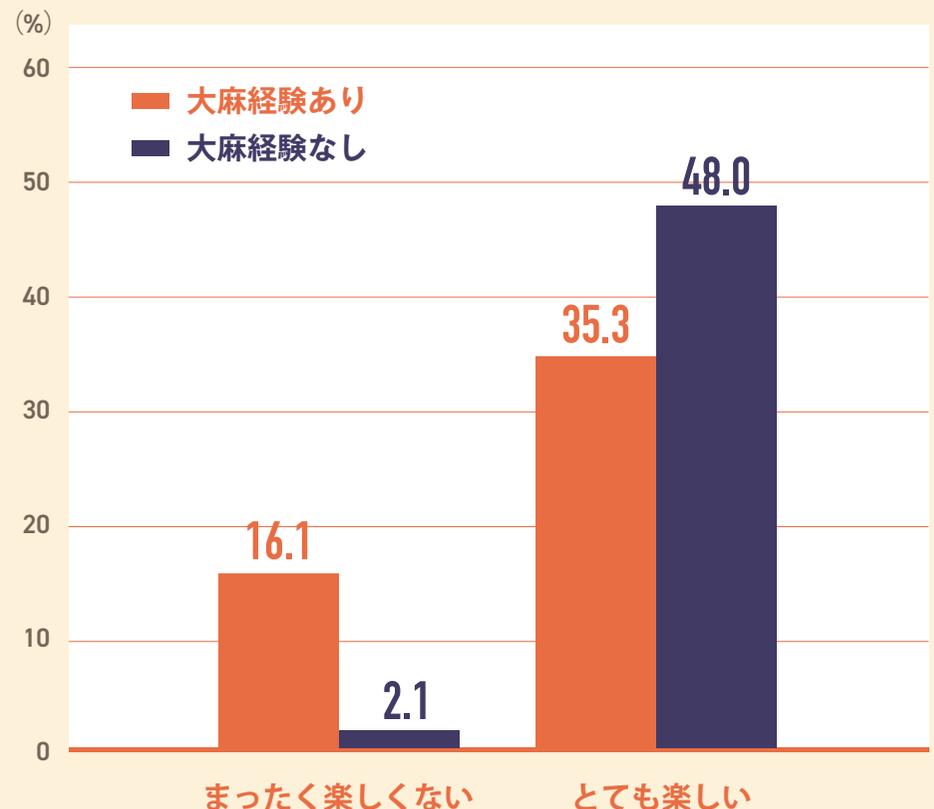


図5. 大麻使用と学校生活の楽しさとの関係



# 04 大麻使用と家庭生活との関係

大麻の使用経験のある中学生は、使用経験のない中学生に比べ、**大人不在の状態でも子どもだけで過ごす時間が長く、悩み事があっても親に相談しない（できない）**ことが明らかになっています。

図6. 大麻使用と大人不在で過ごす時間との関係

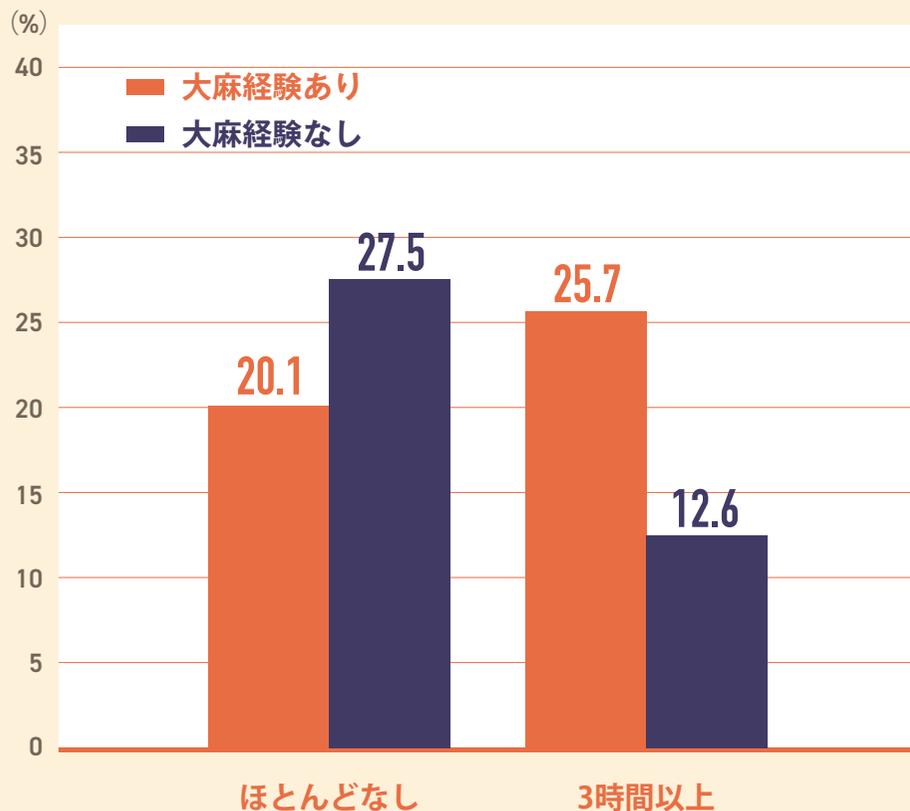
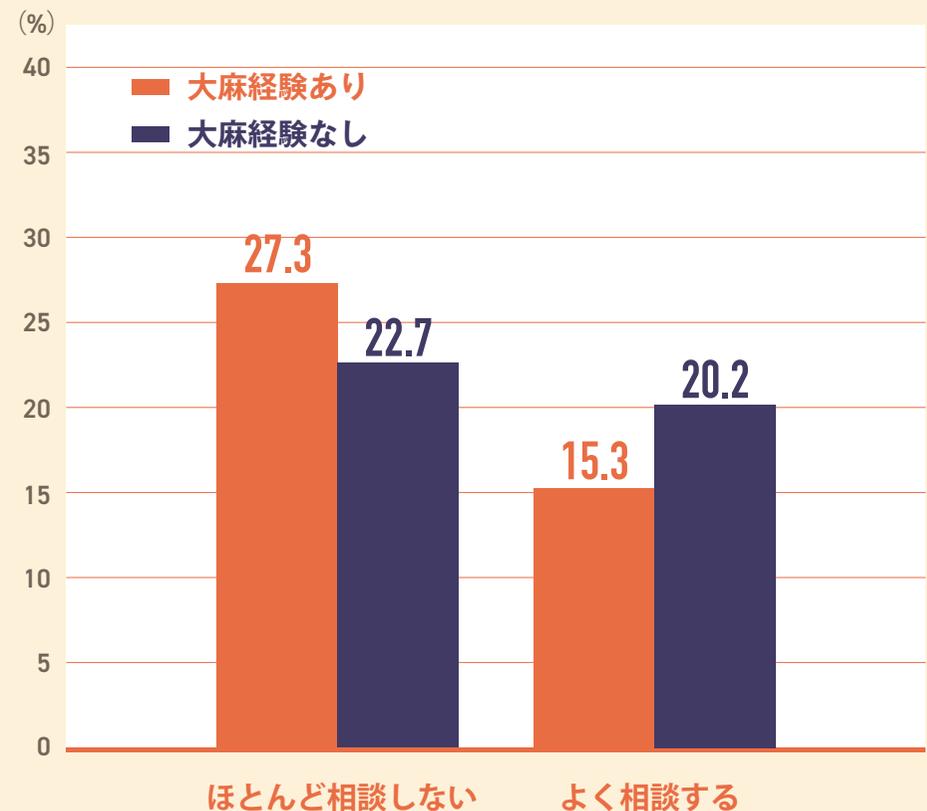


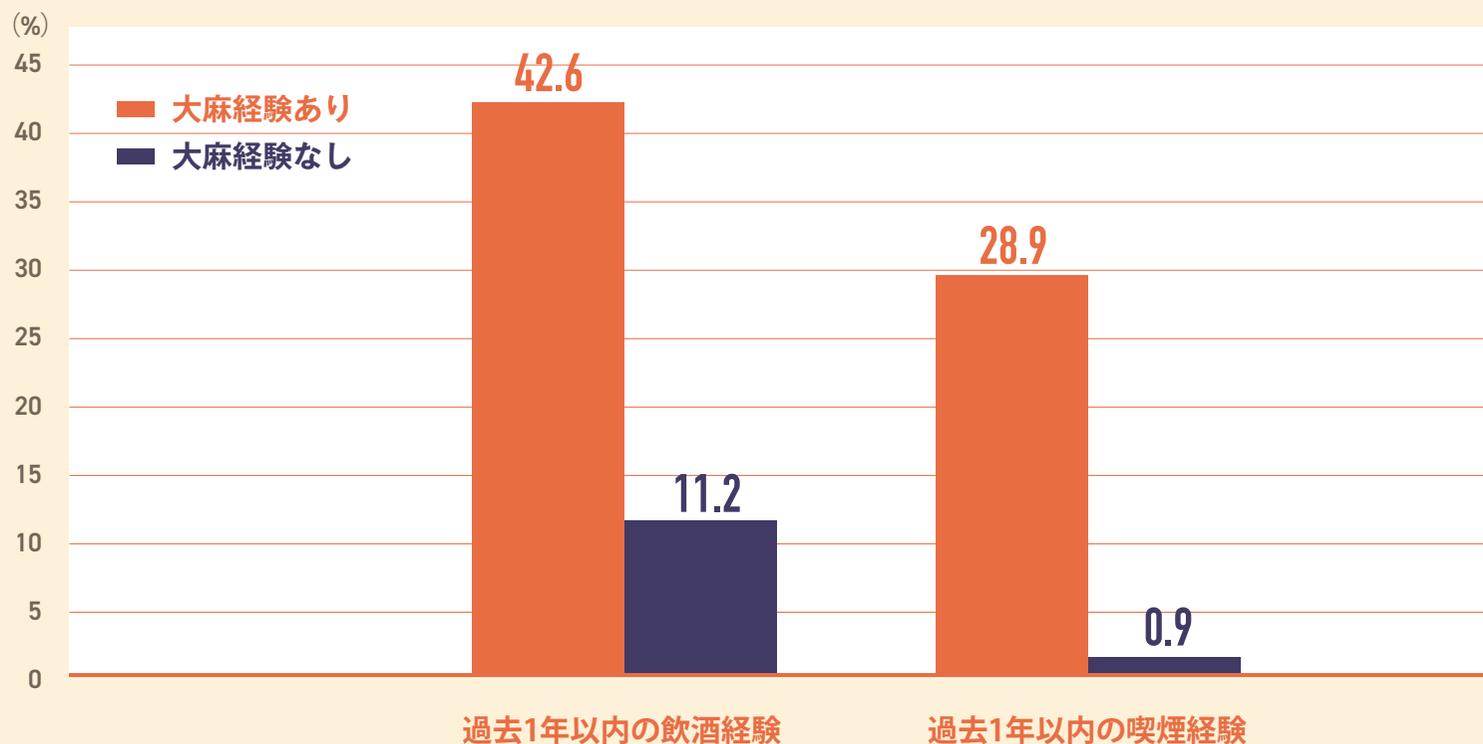
図7. 大麻使用と親への相談との関係



# 05 大麻使用と飲酒・喫煙との関係

大麻の使用経験のある中学生は、使用経験のない中学生に比べ、**飲酒や喫煙をしている割合が高い**ことが明らかになっています。

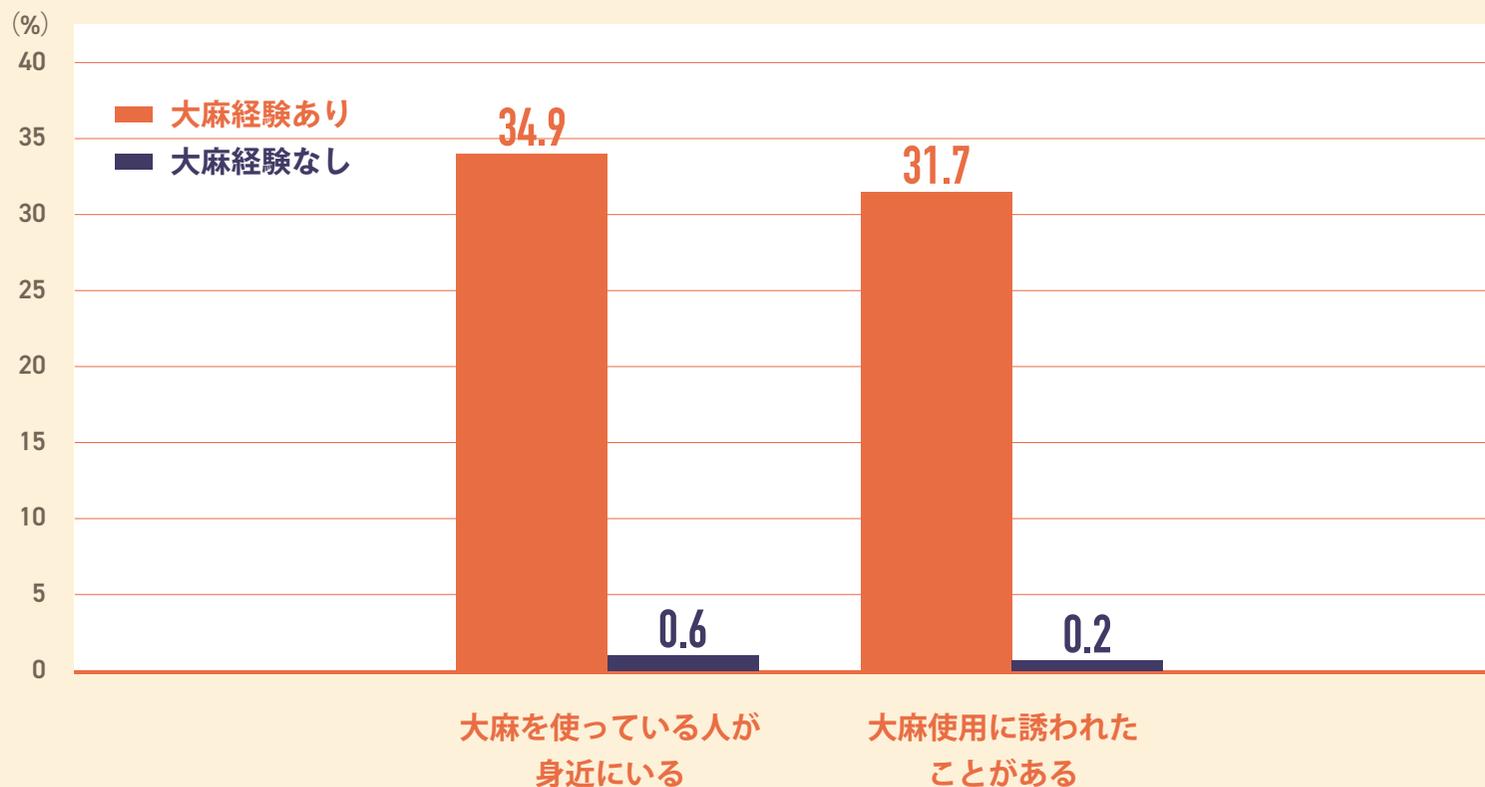
図8. 大麻使用と飲酒・喫煙（過去1年以内）との関係



# 06 大麻使用のきっかけは身近な友人・知人

大麻の使用経験のある中学生は、使用経験のない中学生に比べ、  
**大麻を使っている人が身近にいることや、  
身近な友人・知人から誘われた経験が多いことが  
明らかになっています。**

図9. 大麻使用と身近な友人・知人との関係

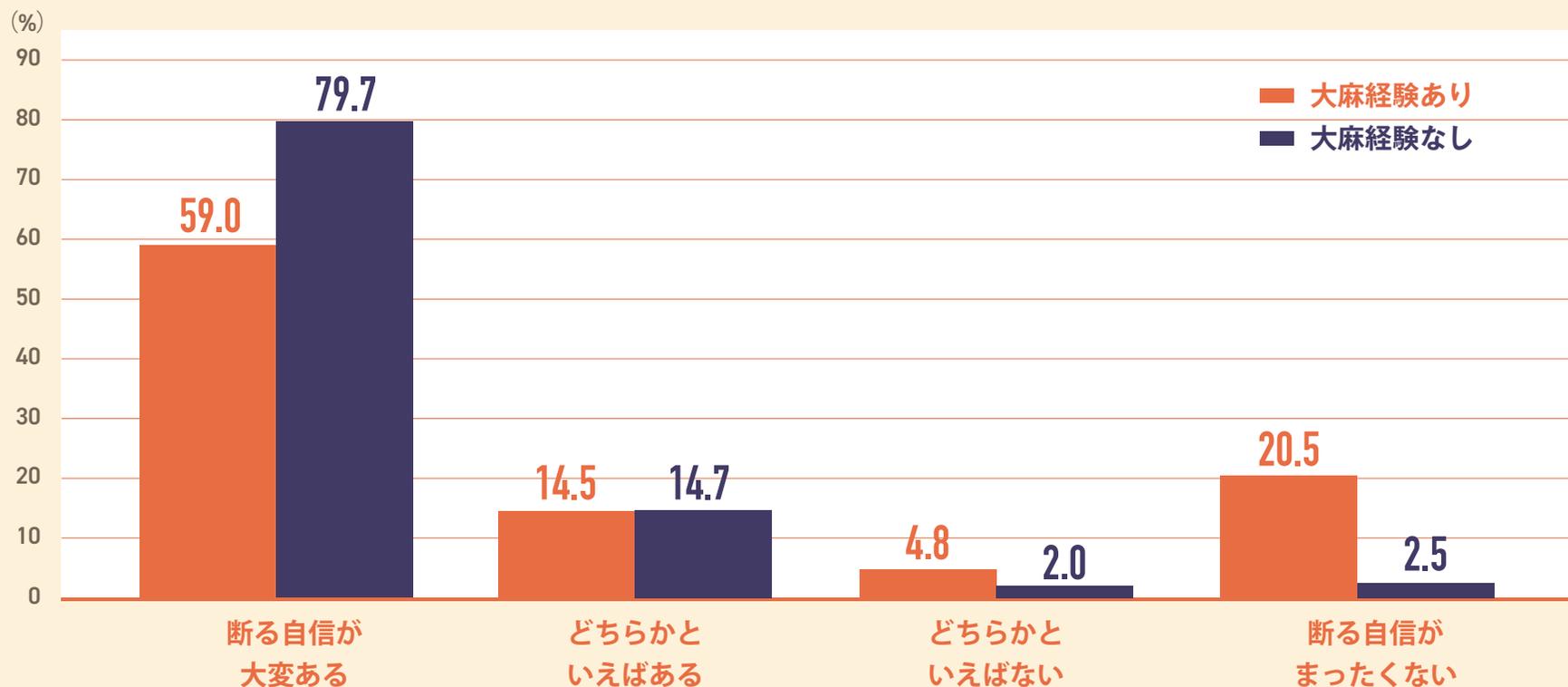


# 07 大麻使用を断る力を育む

大麻の使用経験のある中学生は、使用経験のない中学生に比べ、身近な友人や知人から**薬物の使用を誘われた時に、断る自信がない傾向**がみられます。

大麻使用を予防していくためには、誘いを断る力を育む教育が必要です。

図10. 大麻使用と誘いを断る自信との関係



# 08 地域の専門家を活用しましょう

薬物問題の早期解決のために、地域の専門家を活用してください。  
医療者や相談員には守秘義務がありますので、  
相談内容が外部に漏れることはありません。

## 精神保健福祉センター

メンタルヘルス（心の健康）に関する高い専門性を有する行政機関です。薬物問題を抱えた本人および家族の相談を受けることができます。各都道府県および政令指定都市に設定されています。

<https://www.zmhwc.jp/centerlist.html>

## 依存症対策全国センター

依存症の専門的治療を受けられる医療機関や相談窓口を掲載しています。

<https://www.ncasa-japan.jp/you-do/treatment/treatment-map/>

# 本冊子のご利用方法

- 本冊子は青少年の薬物乱用防止教育の関係者（教育関係者、保健医療関係者、行政関係者など）の方々にご活用いただくために作成しました。
- 本冊子をインターネット等でご紹介いただく際は、以下の出典およびURLを明記してください。  
引用：中学生における大麻使用の実態（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）
- 本冊子に掲載された文章および図表については著作権が発生します。内容や数値を変えることなくそのままご利用ください。
- 本冊子は、令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究（研究代表者：嶋根卓也）の一環として作成されました。

調査の詳細は、次の研究報告書をご覧ください。

<https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/index.html>

嶋根卓也，猪浦智史，北垣邦彦，立森久照，邱冬梅，和田清：飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査。平成30年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「薬物乱用・依存状態等のモニタリング調査と薬物依存者・家族に対する回復支援に関する研究（研究代表者：嶋根卓也）」総括：分担研究報告書。pp19-73, 2019.